

<Vol. 120 の記事>

意見募集 会員・会費制度について 理事会で検討中！
参加募集 第20回浦スポ塾に 参加しよう！

「卒業」のないクラブを目指して

◎ 学校の切れ目が、スポーツの切れ目？！

少年団は小学校を卒業の時に卒団式があったりしますよね。でも、みなさんご存じですか？ 少年団の団員って中学生でも高校生でもいいってことを！

日本体育協会によると、現在、中学生以上の団員は全国で約11万 명이登録していますが、中にはスポーツをエンジョイしながらリーダーとして活動し、将来の指導者をめざして各種の研修を受けている方も少なくないそうです。

しかし、多くの場合、どうしても小学校が終われば少年団は終わり。中学生も高校生も部活は3年の大会が終わるまで。中学や高校3年生なんて早いところでは、5月頃の大会に負けたら、もう引退！なんて部もあるようです。

中学校3年の夏から冬にかけて、心身ともに成長するこの時期にトレーニングをまったくせずにいるのは、実はとってももったいないことです。しかも、高校1年でまた始めようとしても、体がなまってしまっていて、元の体調に戻すのに何ヶ月もかかっている場合もあります。

これでは、日本のスポーツの競技レベルもなかなか向上しないはずですし、部活がなくなるとスポーツをする場もなくなってしまいますので、スポーツを楽しみたい子も、体を動かす場がなくて困ってしまうというのが、日本の現状です。

◎ 歯磨きをするように、スポーツをしよう！

「スポーツ文化の醸成」とか、「スポーツ文化の定着」という言葉を耳にすることがあるかと思いますが。

「文化」は、私たちの生活の中で当たり前にあるものだと思いますが、わざわざこのように言われるということは、まだまだスポーツは生活の中に定着していないということなのでしょう。

東京都で高校生によるDUOリーグ（サッカー部の子どもたちが全員出場できるように、部員が多くても複数のチームをつくり、高校サッカー部員が自分達で管理をしてリーグ戦を行っています）を立ち上げた中塚先生（筑波大付属駒場）は、アマチュア選手がサッカーを引退するという考え方に疑問を感じ、「アマチュアに引退なし」を合言葉に提言した。そこで、受験が近くなった3年生でも部活と受験の両立が出来るようにと、1年次から勉強もサッカーも「歯磨き感覚」で

行えるようなサイクルを確立するためのスポーツライフマネジメントの考え方を取りいれて実践してこられたそうです。

試験前は部活を休みに・・・というのも、スポーツが生活の中の特別なものととらえられているからだだと思います。

生活の中の当たり前の習慣としてスポーツをする・・・視点を変えると、スポーツができる環境があるということだと思います。

◎ 「卒業」のないクラブを目指して！

浦スポは、そんな環境をつくり、そんな考えが当たり前の仲間にも困られたクラブを目指しています。

そのために何よりも重要なのは、会員が会員であり続けていることだと思います。

お子さんの学年が変わったり、習いごとが変わったりするたびに、クラブをやめてしまわれるのではなく、家族でクラブに参加していただき、仕事や学校の変化にとらわれることなく、クラブと一緒にスポーツを楽しめる・・・そんなことを実現したいと思います。

◎ ご意見募集！ どんな仕組みだといいでしょ！

家族で参加し続けていられるクラブにするためには、施設やプログラムを充実していく必要がありますが、もう一つ会員や会費の制度も変えていかなければならないと感じています。

これまでは、プログラムごとに会費を決め、「〇〇広場の会員」とか「〇〇コースの会員」といった区分でした。

「家族で参加」「未永く参加」「多種目に参加」などをしやすくするための仕組みについて、皆さんから意見を募集します。理事会でも話し合っていきますので、ぜひ皆さんからのアイデアをお寄せください。

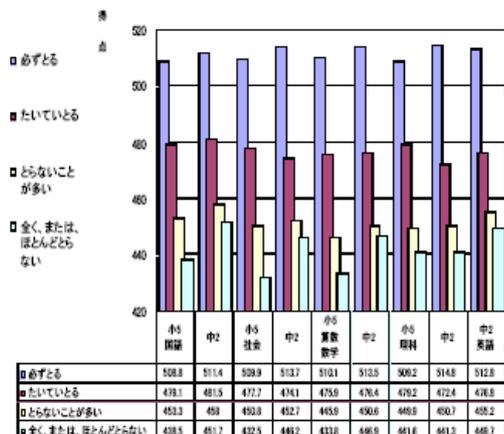
Q この写真がいつの写真かわかりません。
誰か覚えていたら教えてください！
サッカー生涯コースの忘年会のようですが・・・



データ紹介／朝ごはんを食べよう

朝食抜きは、体力にも学力にも影響！ みんなしっかりと朝食を食べてから学校に行こう！

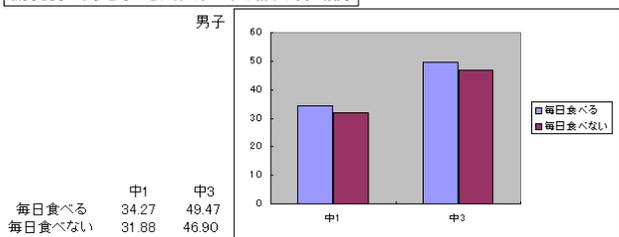
毎日朝食をとる子どもほど、ペーパーテストの得点が高い傾向



※出典：国立教育政策研究所「平成15年度小・中学校教育課程実施状況調査」

調査対象：小学生 約21万1千人(小学5・6年生各約10万人)
中学生 約24万人(各学年約8万人)

朝食を食べる子どもほど、体力テストの結果が良い傾向



2月開始の新プログラム！

高齢者の筋トレ プログラム開始

駒場体育館で実施した教室で好評を博した「高齢者の筋トレ教室」。いよいよ定例プログラムとして2月から開始です。

日時 毎週 木曜日 9時10分～10時
場所 クラブハウス 3F 領家スタジオ
定員 20名程度
会費 2,000円/月

しなやかな心と体をつくる動作法

こちらも駒場体育館で好評を博した星野先生の「動作法」。肩コリの解消や、体のゆがみを取り除き、バランスのよいからだに仕上げていきます。

日時 2/17、24、3/3、10、17 全5回
10時半～12時頃
場所 クラブハウス 2F 講座室
定員 10名程度
会費 新規会員 2,500円/5回
他プログラム会員 1,500円/5回

お知らせ・募集

第20回 浦和スポーツ塾

20周年の最後にむかえた浦スポ塾記念すべき第20回は、斉藤祐樹(野球)、竹澤健介(陸上)、荻原兄弟(スキー)など、数々のトップアスリートを輩出してきた早稲田大学のスポーツ競技スポーツセンター所長の宮内教授から、地域スポーツクラブについてお話をいただきます。

宮内先生は、一方で、wasedaclub2000 所沢西地区総合型地域スポーツクラブの設立にもご尽力され、ご自身は太極拳指導者として100名以上の会員を教えているそうです。

次の30周年、50周年にむけて新たな展開を図るためにも、多くの会員の方にお話しをお聞きいただき、クラブの今後について、一緒に話し合いたいと思います。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時 2011年2月11日(祝) 18時～

場所 浦和コミュニティセンター 第7集会室
(浦和パルコのビル 10F)

講師 早稲田大学 スポーツ科学部 宮内孝知教授

演題 「地域スポーツクラブ」(仮題)

浦スポ塾終了後、同会場周辺で懇親会を開催します(会費3,000円程度)。多くの方の参加をお待ちしています(予約の都合上、参加される方は、できるだけ事前に事務局までご連絡ください)

引き続き 20周年記念誌にご協力を！

クラブの20周年を記念して、クラブの歴史と会員の皆様の声を集めた記念誌を制作します。原稿〆切を延長しました。ぜひ、御寄稿ください！！

■「あなたにとっての浦スポ」投稿募集！

- ◆募集テーマ 「私(僕)にとっての浦スポ」
- ◆文字数 400文字以内
- ◆対象 小学4年生以下の会員の皆さんは保護者の方
小学5年生以上の会員の本人が保護者の方
- ◆募集期間 ～2月中旬まで
- ◆応募方法

クラブまでFAX(048-679-1063)もしくは、コーチにお渡しください。パソコンをお使いの方は、ファイルデータをクラブ事務局までメール添付でお送りください。
(info@urawasc.org)

■写真、記事、記録を提供ください

引き続き、現在の活動の写真、昔の写真・・・いろいろ集めています。皆様のお持ちの資料をご提供ください。



2010年度も、浦和スポーツクラブでは、総合型地域スポーツクラブ活動助成を受けて活動しています。